



戦略ビジョン推進関連事業について



酪農乳業の持続可能性に関する最近の情勢

2015年 国連
持続可能な開発のための
2030アジェンダ採択



人間、地球及び繁栄のための
行動計画として社会・経済・環
境をテーマにSDGs17の目標
と169のターゲットを設定

2016年 国際酪農連盟(IDF)
ロッテルダム宣言
酪農セクターのSDGs

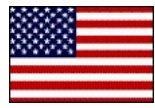


社会・経済・環境・栄養面に配
慮した持続可能な統合的な取
り組みなどを採択。日本は
2017年にJIDFが署名。

2019年 Jミルク
提言・戦略ビジョン
持続可能な産業を目指して



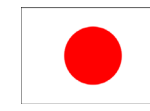
展望ある持続可能な産業を受
け渡すため、成長性・強靱性・
社会性の3つの戦略視点に29
の行動計画を提示。

 2020年2月 農務省(USDA)
農業イノベーションアジェンダ

2050年までに農業の環境負荷を
半減させる一方、生産量を40%増
大させるという目標

 2020年5月
Farm to Fork戦略

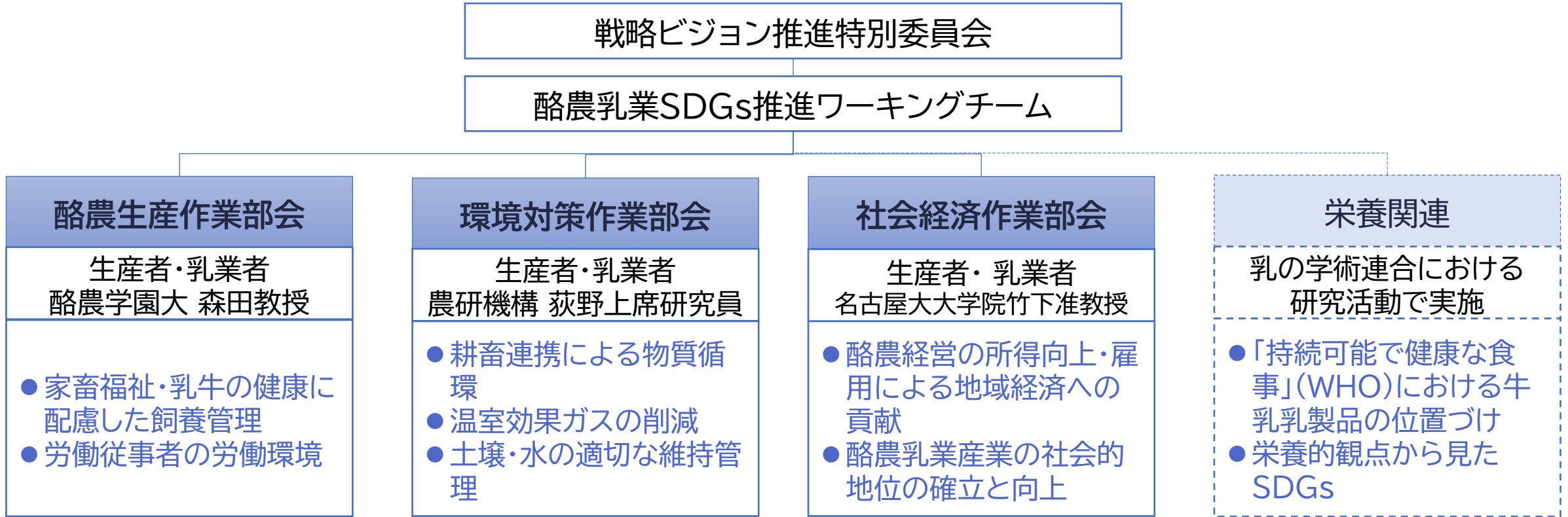
2030年までに化学及び高リスク
の農薬の使用量50%削減、有機
農業を全農地の25%とする目標

 2021年6月 農林水産省
みどりの食料システム戦略

「食・農林水産業の生産力向上と
持続性の両立をイノベーション
で実現」する戦略を策定検討

2021年9月に国連が初めてSDGs達成に向け食料システムサミットを開催(NY)
(サミットを通じたコミットメント・国際ルールが食料・栄養政策に影響する可能性)

・持続性に関わるテーマごとに3つの作業部会設置し指標・目標の設定・具体的実行策等の検討を開始



専門家主導の調査・研究による客観的エビデンスの構築・海外の持続可能性に関する指標にも対応

日本の実態や産業の特徴を十分に勘案し政策とも歩調を合わせて、「持続可能性の視点からの現状評価・測定指標の設定」を検討しその推進を図る。

戦略ビジョンに関連する情報発信

● 戦略ビジョン特設サイトの設置

The screenshot shows the website's navigation menu with categories: 乳の知識 (Milk Knowledge), 食育教材・資料 (Food Education Materials), 研究・レポート (Research/Reports), and 酪農乳業情報 (Dairy Industry Information). The main content area features the title "酪農乳業戦略ビジョン特設サイト (SDGs関連情報)" and a "関係者限定" (Members Only) notice. Below this, a headline reads "2020年度から酪農乳業の持続可能な発展を実現する取り組みを開始しました". A sub-headline states: "Jミルクでは戦略ビジョンの具体的な推進を図るため、酪農乳業における持続可能な取り組みの現状や課題の把握などの取り組みを開始いたしました。本サイトは、酪農乳業関係者の皆様に限定し関連する情報を発信してまいります。"

At the bottom, there are four menu items with red circular icons:

- 最新情報 (Latest Information)
- 戦略ビジョンとは? (What is Strategic Vision?)
- 戦略ビジョン関連情報 (Strategic Vision Related Information)
- 関連会議の開催結果 (Results of Related Meetings)
- 関連リンク集 (Related Link Collection)

2021年2月から戦略ビジョンの取り組みに関する状況や海外の関連情報を発信。
 会員・賛助会員経由でIDとパスワードを配布。

● 戦略ビジョンニュースの発行

The collage displays several issues of the "Dairy Strategic Vision News" newsletter. The visible issues include:

- 第1回 アニマルウェルフェア** (Issue 1: Animal Welfare)
- 第4回 人権** (Issue 4: Human Rights)
- 第2回 環境 ~酪農の現状と課題~** (Issue 2: Environment ~Current Status and Challenges of Dairy Farming~)

Each newsletter cover features the "酪農乳業戦略ビジョンニュース" title, the "Sustainable Development Goals" logo, and the J-milk logo. The newsletters contain articles, photos of cows, and text related to the specific SDG theme of each issue.

戦略ビジョン特設サイトに掲載しています。
 ご希望に応じた印刷物を配布する取り組みも実施

戦略ビジョンへの検討状況や専門的な情報について、ステークホルダーに、分かりやすく迅速に発信する仕組みの構築

第4期3か年計画では、戦略ビジョンの推進を基本視点に、実施にあたっては特別対策事業を活用し事業を推進。4つの重点事項全てに関連付けられ、戦略ビジョン推進特別委員会において事業全体の運営を図ることとしている。

事業項目	主な実施内容	事業の対象	2021年度見直しポイント
酪農生産基盤強化総合支援事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 都府県・家族経営を中心とした生産基盤強化対策 ● 酪農経営の持続可能性強化に向けた担い手育成・確保の取り組みなど 	生産者向け 助成事業	経営継承など家族経営の持続可能性を高める取り組みを拡充
国産牛乳乳製品高付加価値化事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 地域乳業の高付加価値化や持続可能性を強化するための人材育成やマーケティング活動の推進 	乳業者向け 助成事業	乳業者の環境負荷低減等持続可能性を高める取組みを明記し枠組み拡充
酪農乳業持続可能性強化事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 環境負荷低減・アニマルウェルフェア(AW)など日本独自の目標等の検討 ● SDGs等酪農乳業における共同の取り組みの推進 	Jミルク実施 事業	コンテンツ開発を拡充し関係者向けの情報発信を強化
戦略ビジョン・特別対策運営事業	<ul style="list-style-type: none"> ● 戦略ビジョンの実行管理と効果の検証。社会情勢変化に応じた戦略ビジョンの見直し 	Jミルク実施 事業	必要に応じた戦略ビジョンの見直しを明記した

乳業者拠出による産業基盤強化基金により2024年度まで同様の枠組みで事業を継続実施

2020年度実績見込みと2021年度の予算

事業内容		単位(万円)⇒	2020予算	20実績見込	2021予算	
酪農生産基盤強化総合対策事業	生乳生産基盤強化支援事業	(1)生産基盤の改善・指導	4,000	443	800	
		(2)地域育成支援対策	ア乳用牛育成基盤強化	7,000	9,600	9,600
			イ都府県酪農自家生産強化支援	10,500	10,500	農水省事業参照
			ウ乳用牛供用年数延長支援	—	—	(新規)5,100
	小計		21,500	20,543	15,500	
	酪農持続可能性向上支援事業	(1)担い手育成対策	ア酪農後継者・新規就農者研修助成	2,400	1,560	2,000
			イ酪農家への受け入れ支援	2,850	656	1,200
			ウ求人イベント等出展・開催	1,400	91	1,000
			エ後継者等経営参画支援(経営継承等)	—	—	(新規)10,000
		(2)酪農生産への理解醸成活動	1,900	107	1,000	
		(3)持続可能性向上独自対策	1,180	5	1,000	
	小計		9,730	2,419	16,200	
	生乳生産基盤強化対策特認事業(全国連)		6,000	0	6,000	
	計…①		37,230	22,962	37,700	
国産牛乳乳製品高付加価値化の推進	国産牛乳乳製品高付加価値化の支援		300	0	200	
	(1)技術・人材開発のための研修等	(1)技術・人材開発のための研修等	1,080	60	800	
		(2)商品開発・PR活動等	760	21	500	
		(3)優れた事業成果の共有化	450	0	300	
		(4)調査や指導等	445	0	300	
計…②		3,035	81	2,100		
持続可能性強化事業 (Jミルク実施)…③		1,740	830	3,290		
戦略ビジョン・特別対策運営事業(支払消費税・人件費等含む)…④		7,135	6,350	6,224		
合計(①+②+③+④)		49,140	30,223	49,560		

全国の乳業者のご理解・ご協力をいただき年間5億円の基金造成を5年間継続

対策金等の名称	基盤強化対策金	基盤強化特別対策金 <u>(毎年度お申し出いただく)</u>
対策金の計算方法	2020～24年度 取引生乳数量(kg)×@5銭	<u>拠出年度前年度の取引生乳数量(kg)×@5銭</u> (2020年度実績)
拠出対象乳業者	事業に賛同いただき拠出に同意する全ての乳業者 (乳業団体に同意書を提出)	事業を効果をさらに高めるために乳業団体へ協力を申し出て基盤強化対策金にさらに追加拠出する乳業者
	同意乳業者名等をウェブサイトにおいて公表(次ページに一覧)	
拠出方法	一般拠出金と同様に指定団体・全国連ルートでお支払い	Jミルクからの請求により直接お支払い
余剰金	余剰金が生じた場合は取扱いを理事会において協議・決定	
2021年度の拠出者数	87社 (2020年当初84社)	2021年5月まで受付中 (2020年度26社)

酪農乳業産業基盤強化特別対策事業にご協力いただいている乳業者

都道府県	No.	企業名
北海道	1	くみあい乳業株式会社
	2	倉島乳業株式会社
	3	有限会社小松牧場
	4	新札幌乳業株式会社
	5	十勝浦幌森永乳業株式会社
	6	株式会社豊富牛乳公社
	7	株式会社のぼりべつ酪農館
	8	株式会社べつかい乳業興社
	9	株式会社牧家
	10	北海道乳業株式会社
	11	北海道日高乳業株式会社
	12	北海道保証牛乳株式会社
	13	株式会社北海道酪農公社
	14	株式会社町村農場
	15	よつ葉乳業株式会社
青森県	16	一般財団法人新郷村ふるさと活性化公社
岩手県	17	有限会社安比高原牧場
	18	岩泉ホールディングス株式会社
	19	岩手牛乳株式会社
	20	大石乳業株式会社
	21	株式会社おおのミルク工房
	22	一般社団法人葛巻町畜産開発公社
	23	不二家乳業株式会社
	24	株式会社湯田牛乳公社
宮城県	25	東北森永乳業株式会社
	26	みちのくミルク株式会社
福島県	27	会津中央乳業株式会社
	28	東北協同乳業株式会社
	29	酪王乳業株式会社

都道府県	No.	企業名
茨城県	30	いばらく乳業株式会社
	31	関東乳業株式会社
	32	筑波乳業株式会社
	33	トモ工乳業株式会社
栃木県	34	栃木乳業株式会社
	35	栃木明治牛乳株式会社
群馬県	36	群馬明治株式会社
	37	上毛食品工業株式会社
東京都	38	カルピス株式会社
	39	協同乳業株式会社
	40	小岩井乳業株式会社
	41	全国酪農業協同組合連合会
	42	ダノンジャパン株式会社
	43	株式会社明治
	44	森永乳業株式会社
	45	雪印メグミルク株式会社
	神奈川県	46
47		タカナシ乳業株式会社
48		守山乳業株式会社
49		横浜森永乳業株式会社
静岡県	50	いなさ酪農業協同組合
	51	大林牛乳
	52	静岡牛乳協同組合
	53	東海明治株式会社
新潟県	54	島田牛乳処理場
	55	新潟県農協乳業株式会社
	56	有限会社ヤスダヨーグルト
石川県	57	アイ・ミルク北陸株式会社
	58	株式会社ホリ乳業
長野県	59	八ヶ岳乳業株式会社

都道府県	No.	企業名
岐阜県	60	美濃酪農農業協同組合連合会
愛知県	61	中央製乳株式会社
大阪府	62	株式会社いかるが牛乳
	63	いかるが乳業株式会社
	64	江崎グリコ株式会社
	65	グリコマニュファクチャリングジャパン株式会社
	66	泉南乳業株式会社
	67	日本酪農協同株式会社
	68	ビタミン乳業株式会社
兵庫県	69	株式会社共進牧場
鳥取県	70	大山乳業農業協同組合
島根県	71	島根中酪株式会社
岡山県	72	オハヨー乳業株式会社
広島県	73	山陽乳業株式会社
	74	広島森永乳業株式会社
山口県	75	やまぐち県酪乳業株式会社
香川県	76	四国明治株式会社
愛媛県	77	四国乳業株式会社
福岡県	78	オーム乳業株式会社
	79	永利牛乳株式会社
	80	ニシラク乳業株式会社
長崎県	81	ミラクル乳業株式会社
熊本県	82	熊本県酪農業協同組合連合会
	83	熊本森永乳業株式会社
	84	球磨酪農農業協同組合
	85	株式会社弘乳舎
	86	合資会社堀田功乳舎
宮崎県	87	南日本酪農協同株式会社

※2021年4月1日現在 都道府県は本社・本所所在地(五十音順)

2020年度基盤強化特別対策金納入乳業者